

# まちの史跡めぐり

206

## 国会図書館所蔵資料の閲覧 (2)

町文化財専門委員  
石瀧 豊美

国会図書館デジタルコレクションで、前回と同じ条件で「糟屋須恵村」を検索したところ、692件がヒットしました。前回よりも1件増えていました。その内のいくつかを紹介します。「」は石瀧の補足です。原文のカタカナをひらがなに直し、句読点を付しました。

●官報・第三四五〇号附録・明治27年(1894年)12月26日  
日清戦争(1894年~95年)に際しての、民間人から軍隊への寄附を、「申出月日・名称・員数・府県・族籍・爵位・氏名」について、一覧表にしたものです。族籍は現在はありませんが、華族(元)の大名や公家、維新の功労者などで、爵

の氏名、左の如し。但し孰も申出の遅速に拘らず、手続を了したる順序に依る。

明治二十七年十二月二十六日  
陸軍恤兵部  
寄贈品の部  
【須恵村に該当なし】  
献納金の部  
(略)  
八三三 一(田)  
福岡県 原田善次郎  
八三三 一  
同 安高善四郎  
八三三 一五〇  
福岡県 百田徳右衛門  
八三三 一五〇  
同 今泉小太郎  
八三三 一五〇  
同 長沢作右衛門  
八三三 一〇  
同 今泉嘉市

この6人は糟屋郡須恵村という記載がありませんが、須恵村の人物と判断して、念のため掲載しておきました。単に「福岡県」とある分は他も同じです。この後に須恵村の記事が続きます  
八三三 一六九〇  
福岡県 須恵村大字植木有志者五十七名総代  
今泉武(右)衛門  
八三三 一〇  
同 乙部落人民総代  
合屋長右衛門

八二二 福岡県 合屋壮市  
八二二 同 合屋源助  
八二二 同 百田藤兵衛  
八二二 九六五 福岡県 糟屋郡須恵村大字佐谷有志者七十一名  
総代 百田源次  
八二二 一九三 同 大字上須恵  
有志者八十五名  
総代 田原一郎  
八二二 一五〇 福岡県 安河内甚平  
八二二 二 同 田原精一  
八二二 一五〇 同 勝野新  
八二二 二 福岡県 田原弥三  
八二二 一 同 村上直吉 【村山の誤りか】  
八二二 一 同 田原佐市  
八八 三 福岡県 岡成次郎  
八八 二 福岡県 今泉七兵衛  
八八 二 同 吉松勝平  
八八 二 同 吉松芳之助  
八八 一 同 吉松武蔵

八八 一 同 原田玄胤  
八八 一 一六五 福岡県 糟屋郡須恵村大字須恵有志者五十五名  
総代 吉松魁三  
八八 一 八二〇 同 大字旅石  
有志者二十六名  
総代 三角喜兵衛  
八九 一 福岡県 渡辺善三郎  
八九 一 同 堀 精作  
八九 一 同 印藤文四郎  
八九 一 同 印藤又右衛門  
八九 一 同 印藤万吉  
八九 一 同 印藤重吉  
八九 一 同 渡辺善吉  
八九 一 同 渡辺作七  
八九 一 同 三角文作  
八九 一 同 渡辺又作  
八九 一 同 三角仁六

八、九 一 同 三角久平

●『鉱山雑誌』第26号、鉱山雑誌社、明治28年(1895年)12月25日発行。  
◆○今般転居届出に相成たる諸君左の通り  
(略)

福岡県糟屋郡須恵村新原探炭所 通信員 島河実君 会員 消息  
○通信員島河実君は兼て鉱山遊歴せられしが今般福岡新原探炭所に趣任赴任の間違いかせられたり  
【島河実という人物は新原探炭所に新たに採用されたか、転勤してきた人物のようです。通信員とあ

るので、新原探炭所の事情がこの雑誌に報告されている可能性があります。なお、鉱山同志会々則の第一条には本会の目的は同志同志の「親睦を旨とし、併せて鉱業に関する学科及び事項を研究し、側ら(傍ら)の意(康)康(意)味不明(廉)直(の)誤(り)か(を)主として広く鉱業家事業の依頼に應ずるものとす」とあります。】

●『職員録』明治32年中  
【職員録】は現在の公務員の名簿に当たる。明治32年(1899年)2月1日現在で、各官庁の高等官・判任官などを載せる。東郷平八郎は従四位・勲四等・功四級を略記したもの。前掲、嶋河実の名は職員録になかった。すでに転出しているのか、それとも技手よりも下のランクで掲載されなかったのかもわからない。】  
◆○佐世保鎮守府 長崎県東彼杵郡佐世保村  
司令長官 中将 従四、勲四、功四 東郷平八郎  
司令官 少将 正五、勲三、功四 尾形惟善

●『職員録』明治33年中  
◆○佐世保鎮守府 長崎県東彼杵郡佐世保村  
司令長官 中将 従四、勲三、功四 東郷平八郎  
司令官( ) 少将 正五、勲四、功四 松永雄樹

○新原探炭所 筑前国糟屋郡須恵村大字新原  
長 大機関士 従六、勲五 藤沼物  
書記 六 勲七 武藤正儀  
七 勲八 相良駿  
十 島山盛行  
技手 六 進藤録造

●『福岡県治一斑』明治26年(1893年)  
【福岡県のおさまざまな統計を載せる。編集は福岡県内務部第一課】  
◆第七五 工業会社及製造所 【須恵村だけをピックアップ】

| 名称     | 営業種別 | 所在地名   | 資本金    |
|--------|------|--------|--------|
| 旅石炭坑会社 | 鉱業   | 糟屋郡須恵村 | 九、五〇〇円 |
| 炭坑会社   | 同    | 糟屋郡須恵村 | 八、五〇〇  |

●山上万次郎『地理学講義 日本之部』宝永館、明治34年(1901年)

◆第五節 鉱業 / 六四 鉱業に関する政府の施設事務及び事業  
又筑前国糟屋郡須恵村大字新原にある新原探炭所は、海軍省の管理に属す。



南米里の山王宮鳥居脇にある「猿田彦大神」。犬の散歩で偶然通りかかり気が付きました。何度も来ていたのに、記憶に残っていませんでした。「猿田彦大神と庚申尊天」(広報すえ令和4年5月~11月)の連載の中では取り上げていませんでした。文字の部分に朱が差されているので存在感はバッチリ。書もバランスよくきれいです。残念ながら建立年・建立者などの文字は刻まれていないようでした。今後にも新たに気付いた場合は補正して報告します。